

11の分科会、対面の中で議論深める

東京土建第76回定期大会では、午後からベルサール東京日本橋の4階と5階にて11の分科会を約90分で開催。各専門分野での昨年度の運動を総括し、支部のすぐれた経験を

交流した上で、組合員と家族の仕事とくらしを向上させ、建設産業を民主化し、組織を強く大きくする方針を確認しました。それぞれの内容を3〜6面で報告します。

社会保障対策分科会

議長：鎗田 登美雄(杉並)
〃 今村 真治(狛江)
書記：小田井 穰(狛江)

「保険証の廃止」「マイナ強制」

撤回求めて奮闘する

参加者は、代議員28人、代議員以外16人の合計44人で開催されました。

石村副委員長の挨拶の後、昨年の運動の経過と到達、社会保障をめぐる情勢、今年度の運動方針が提案され、続いて

の阻止、建設国保育成強化と補助金現行水準確保を目指す取り組みを進める、③命と健康を守る保健対策推進活動を進める、④健保適用除外の要件緩和を求める、⑤マイナカード取得義務化につながる「健康保険証の廃止」の撤回を求める、を提起しました。

続いて、2つの支部から運動到達の報告がありました。小金井国分寺支部からは、コロナ禍で住民支援の必要性が高まり活動を再開させた地域社協協の取り組み、江戸川支部からは、様々な活動が制限されたなか、仲間の工夫で、ハカキ要請を大幅に飛躍させた経験が報告されました。

討論では、4つの事前質問に対して執行部が回答し、その後、4人仲間から発言がありました。保険証の廃止撤回運動の強化をとの意見に、執行部は、全建総連やマイナパー反対連絡会での国会請願、署名、議員要請や省庁交渉などに取り組み、全都で奮闘したいと回答しました。保健対策推進活動では、契約外機関での健診が受診率に反映で

きていない状況が報告され、執行部は、結果提供制度を利用してもらえよう拡大行動などで積極的な呼びかけをお願いしたいと答弁しました。また、地域社協による自治体への働きかけが補償購入入助成制度の創設に繋がった日野市の経験が紹介されました。地域住民の声を行政に届け、要求実現を果たした教訓は、全都の今後の活動を励ますものでした。

千葉社保対部長のまとめ、分科会議案の採択後、清水担当中執より社会保障の改悪をすすめる国に対し旺盛な大衆運動に取り組んでいこうと閉会あいさつがありました。

こと、36協定などは今後待たなしの課題であることが報告されました。方針では、組織機能の活性化に向けた新3つの組織活動の具体化、群の到達指標の充実と組織強化、11万3千人に向けて年間・年間拡大に団結し増勢軌道をつくること、事業所の仲間の結集対策を前進させること、組織強化を土台に目標達成するなかで組織増勢を勝ち取ることが提案されました。

最後に一括して分科会議案を採択し、榎山組織部長が「次回には余裕をもった議論を行いたい。全世代の運動で大衆化させ、団結して組織増勢の年としてがんばっていきましょう」とまとめました。最後に、渡辺担当中執から、本日提案されたことを各支部に持ち帰って団結してがんばろうとあいさつがあり、閉会となりました。



発言する村山大和支部の代議員

参加者は、代議員39人、代議員以外の参加者12人の全体で51人でした。榎山組織部長、黒木専従常任が分担して議案を提案しました。経過では、建設アクション運動と結んだ拡大運動のラウンドごとの結果と特徴、

組織分科会

議長：宮崎 透(西多摩)
〃 野田 智文(江東)
書記：関 晃啓(江東)

さらに夏イチバン、冬イチバン行動で群会議オルグやインボイス学習会、若手交流会など多彩に実施された支部の具体的な経験や教訓などが報告されました。事業所対策委員会では、労基署から改善命令が出された事業所がでている

運動に取組んでいこうと閉会あいさつがありました。

分科会では技術対策部に参加しました。CCUSについて、私は塗装工ですが、レベル判定はすべての業種で充分にできないので、まだまだこれからかな、という印象でした。

組織が追い込まれたときこそ、団結して、組合員の誇りと意地にかけて、立ち向かわなければならぬと思った一日でした。

分科会では技術対策部に参加しました。CCUSについて、私は塗装工ですが、レベル判定はすべての業種で充分にできないので、まだまだこれからかな、という印象でした。

多彩な支部経験、共有

団結して増勢軌道つくろう



支部報告で議案を補強する練馬支部の代議員

運動に取組んでいこうと閉会あいさつがありました。

分科会では技術対策部に参加しました。CCUSについて、私は塗装工ですが、レベル判定はすべての業種で充分にできないので、まだまだこれからかな、という印象でした。

分科会では技術対策部に参加しました。CCUSについて、私は塗装工ですが、レベル判定はすべての業種で充分にできないので、まだまだこれからかな、という印象でした。

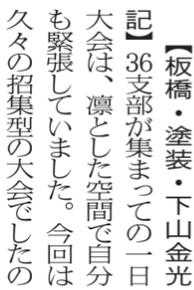
大会に参加した仲間たちの感想

事前配信の工夫とても良かった



望月さん

の工夫はとても良かったと思います。平時においてもこのような方法を活用し、時間短縮することを希望します。演壇からの提案は、前を向いて発言してほしかったです。下を向いて議案書の文章を読み上げるだけでは、何も伝わらないと思うのです。分科会への移動では、高層ビル現場の朝の風景の様で、分散させるか別の方法を考えたいただけなら幸いです。私は特別代議員でしたが、信任投票を行なっている間は休憩時間を作る等、考えてほしかったです。



下山さん

分科会では技術対策部に参加しました。CCUSについて、私は塗装工ですが、レベル判定はすべての業種で充分にできないので、まだまだこれからかな、という印象でした。

分科会では技術対策部に参加しました。CCUSについて、私は塗装工ですが、レベル判定はすべての業種で充分にできないので、まだまだこれからかな、という印象でした。